



Weekly Report Rotary

福島中央RC

福島中央ロータリークラブ会報



事務局 〒960-8051 福島市菅根田町4-22 TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com http:fukushimachuo-rc.com/

会長あいさつ

2024-25年度会長 佐藤 信雄



皆様こんにちは。
先週の初釜例会はいかがだったでしょうか。茶道の厳かな雰囲気に触れ、緊張の中にも楽しいひと時を過ごしました。穴戸会員お世話になりました。
さて、2月は「平和構築と紛争予防」月間です。
ガバナー月信2月号に早川ガバナーのレポートが載っておりまして。皆様もお読みになったことと思います。My ROTARYに「平和構築と紛争予防」について多くのリソースが掲載されています。その中からの抜粋を紹介し

ます。

平和で公平な世界を築くというロータリアンの取り組みには限界はありません。

世界のロータリアンは各地の地域社会を一つに結んでいます。文化的理解を深めるプログラムを実施し、紛争の原因となる課題に取り組み、暴力を押さえ信頼を築くことに注力しています。

困難に立ち向かうための研修プログラムを提供し、平和構築を目指す若者の育成に力を注いでいます。

国連との協力を得て平和構築へのインパクトは高まっています。

私たちに何ができるかを考えてみましょう。私たちの小さな行動が大きな変化を生み出しことがあります。

ロータリーの平和構築に積極的にかかわり、奉仕の意識を高めましょう。

以上、ほんの一部ではありますが紹介いたしました。

話は変わりますが、先に皆様にメールでご了承を得ました、福島西高校卒業で現在JICAエジプト事務所勤務の阿部璃音(あべ りお)さんのグローバル補助金申請に対して世話クラブとなりました。

彼女は中東やアフリカの紛争地域において、教育やスポーツを通して人間の尊厳と自立を取り戻してもらい希望を持ち続けられる環境の構築に取り組みたい。その日その日を生き延びることが精一杯の彼女らに、教育やスポーツを通して未来を描き希望を与えられるための生活再建と社会復帰を支援ができるための知識を、英国のブラッドフォード大学修士課程で学びたいという意気に感じ世話クラブとなりました。

私たちロータリアン個々人もロータリー財団や米山奨学会への寄付がスタートとなるのではないかと思います。

以上、会長挨拶といたします。

ありがとうございます。



2025年2月5日(水)

第24回(通算1611回)

ウェディング エルティ

「CM卓話 渡部九二五郎会員/
税金についてのお話 鍛冶 輝雄会員」

例会次第

- ◆開会点鐘 佐藤 信雄会長
- ◆国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 坂本 和司会員



- ◆「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 佐藤 龍史委員長



- ◆2月会員及びパートナーの誕生祝
♪誕生日ソング

- ◆会長あいさつ 佐藤 信雄会長
- ◆お食事をどうぞ
- ◆幹事報告 多田 憲司幹事

- ◆各委員会報告
・3月のプログラム紹介 穴戸 宏行委員長
- ・ニコニコBOX委員会報告 植木 博隆委員
- ・「県北地区中学生バレーボール選手権大会」応援について 佐藤 和子奉仕プロジェクト委員長

- ◆チャーターメンバー卓話
・渡部九二五郎会員
- ◆税金についてのお話
・鍛冶 輝雄会員
- ◆閉会点鐘 佐藤 信雄会長



チャーターメンバー卓話

渡部九二五郎会員

みなさんこんにちは。

昨年12月の末に、会長から「チャーターメンバーの卓話」で自由スピーチをするよう依頼がありました。

ここ数年、皆さんの前でスピーチする機会も少なくなり、この間喉・声の調子も変わり聞きにくい点、多々あると思います。少し緊張もしていますがお聞きください。

私がロータリークラブ入会のお誘いを受けたのは、1971年3月に雪の米沢から出てきて仕事に取り組んで15年目になった頃でした。

周りを見渡しても友人・知人・同級生・同窓生・先輩後輩など誰もいなく仕事関係と取引先の方々ばかりでした。当時は仕事のこれから不透明であり、この福島の地に人生の友を得たいと考えていた矢先にお誘いを受け、新しくできる福島中央ロータリークラブの会員に推薦して頂き会員になった事をよく覚えています。

あれから、福島中央ロータリークラブも34年を過ぎ、チャーターメンバーも少なくなっていました。その後、1996～1997年度には故桃井輝征会長の下、幹事をさせて頂きました。2002～2003年度には、順番が回ってきて会長になりました。この時まで、よくぞ会社が生きていたと感無量でした。

実は、私はチャーターメンバーに幾分誇りを持って今日まで来ました。その誇り、自負というのは、零細小規模事業の中で

事業が上手くいくかの不安

組織の中で行動することに不慣れな不安

多数の会員から嫌われていないかという不安

会話力・文章力・人前での発表(発言)力の不安／

教養不足の不安

こうした不安を抱えながら辛うじて1年が過ぎ、会長の役目が終わったときはほっとしたことを懐かしく思い出しました。

本日の卓話を機会としてこれまでの思っている事の一部をお話しようと思います。

会員の誰もが親切で敬意をもつての交際が始まりましたが、私の意図するところから少し違った方向・目的に向かい始めました。それが「4つのテスト」「それでこそロータリー」「我等の生業」「奉仕の理想」「ロータリーの目的」であり、これらの考え方を伝えてくれるのが「ロータリーの友」であると今でも強く思っています。みなさんご存知のとおり、各標語が言わんとしている言葉の中に奉仕の理想が底流にあると気が付きました。求めていたわけでもないことに気が付き、ロータリーの目的に沿って出来ていく人間関係の大事さを教えられたような気がしました。

今、顧みてロータリークラブは私をどう変えたかを反省を込めて、一部ご紹介しますと

故長谷川好美会員には「笑顔を絶やさない人間関係」を故桃井輝行会員からは「人生は焦らずに」を故今井明会員には「仕事の適正・会計の正確さ」を教えられました。

故栗村正紀会員からは「事業の成長はロータリー人生も成長するぞ」など人生の教訓になるお言葉を頂いた事を覚えています。

2530地区のRC会員からはたくさんの知己を得ました。特に地区の米山奨学会委員会は約5年にわたり委員をさせて頂き、大いに奉仕の真髄を学んだように感じたものでした。まだまだたくさんの会員から学ぶことが多くあり、その委員会を退任する時は少し残念な気がいたしました。

余談ですがロータリーの目的・信条に対してのめり過ぎないことも大切なことではないかの反省もあります。自分の知識・能力を超えて社会奉仕を考え過ぎ、また一方で市役所のお偉方におだてられ、身の程知らずの社会福祉法人の老健施設の立上げにかかわりました。この時はロータリークラブの会員の仕事皆の総合力を得られれば成功するという単純浅はかな思いで出発し、のめり込んだのが原因だったと深く反省しました。ただ結果として今は軌道に乗り順調に成長しているようです。結果として大きな社会貢献をしたと自負しています。それからは、ロータリークラブの活動には、のめり込まずに一生懸命が私の信条になりました。

更に、思い出話を2つ程ご紹介します。

クラブに入会した後に解かった事ですが、創立会長の佐藤哲雄さんにはチャーターメンバーの身元調査が必要とのお考えがあったようです。即ち例会出席が本当に可能か、参加活動していくのに仕事にゆとりがあるのか、家庭が円満か、酒癖が悪くないかなど問われたました事に

合格したのは幸いでした。

今は故人となられてしまった多田司朗初代会長から「渡部さん、仕事には波がある、気楽にエンジョイすることも大事である」と励まされ、今でも我がロータリークラブの底流に(エンジョイロータリー)の思想があることは幸いです。

今日の会員減少を考えるとその頃は会長人材は未だ順番の来てない会員がたくさん残っていて、まだまだゆとりがありました。私の順番の時は、仕事の都合で長谷川好美さんと前後して交代してもらいその間で仕事の段取りを変更し翌年に13代会長にさせて頂きました。大いに助かったことを今でも感謝しています。



私のこれまでの経験から、これからのロータリーのあり方に対して願いを込めて申し上げたいと思います。

私の会長時代の理事会は通常理事会の後は、必ず親睦会がありこれから先のロータリーの活動指針を繰り返話し合いがありました。又、夜間例会などでも金銭奉仕の順番などを決めたりしながら、お酒もまわり午前様も度々でした。

現在の理事会組織運営と創立15年目ぐらいまでの違いを思い出し拾上げてみると、

- 1) 家族例会に対してご家族の出席が少なくなっているように思います。
- 2) 良し悪しは別として、理事会の後の懇親会がなくなっているのではないかと感じます。
- 3) RCアジア大会や会員同士の遠方への遠征会員のメキアップが少ないような気がします。
- 4) 興味ある職場訪問例会が減少しているように思えます。
- 5) 女性メンバーの減少／女性メンバーの入会は日本全国でも初で注目されました。(あらゆる企画が注目されるクラブ作りを心掛けたいものです。)
- 6) 地区大会で表彰を受けるため目標と計画を持つ。(穴戸会員からお褒めの言葉を頂きました。)例え

ば、夜間例会でお酒が入って元気が出たときにお願います。例えば、以前は、米山奨学会寄付は当初は30万円で高額でしたが3人グループを作って3年計画で3名が達成するなど工夫を重ねた覚えがあります。

話は変わりますが、この年齢になると人生の思い出作りも大事なと思い、過日東京六本木ロータリークラブ20周年記念式典に参列してきました。東京地区のロータリークラブにメキアップしたのは会長年度の前年に品川ロータリークラブでしたので久しぶりのメキアップでした。会長からの報告の通り、どちらも、東京地区と地方のロータリークラブの格差を感じましたが、福島中央ロータリークラブが一番と思いました。ロータリーの立ち位置が違うことを実感しました。

1月22日の熊坂会員と芳賀会員で我々の福島中央ロータリークラブの生い立ちや成長の経過を語られました。芳賀会員には経過の写真集まで作成して頂きました。女性会員の事やゴルフ部会の事などクラブの礎になったことなど、今では評価される活動だったように思えます。芳賀会員からのメッセージで35年楽しく続けてきた理由は「ロータリーの楽しさ、相互の励まし、夢があった事が根底にあった」とのお話でした。私も全く同感であります。残り人生どれほどの事が出来るかは甚だ心もとないですが、もう少し頑張りますので、これからもご厚誼のほどよろしくお願い致します。

はなはだ拙い話で退屈されたことと思います。
ご清聴ありがとうございました。

あと一言

ロータリークラブとは人との出会いを楽しむ場、自分自身の人生の幅を転げる場という側面があると感じます。テーブルに配らせて頂いた写真は2002～2003年の国際ロータリー会長のビチャイ・ラクタル氏です。タイの外務大臣や副首相を務められた方です。この年度のテーマは「慈愛の種を播きましょう」でした。こんなサプライズ出会いもあるんですね。





税金についてのお話

鍛冶 輝雄会員



エジプトのピラミッド建設目的

王様の権威の象徴(お墓)の建設⇒産業の創造
設計者、石切り場の開設、運送用の港の開設、作業者の募集と管理etc。
建設初期の費用は全て王様が用立てたが 様々な業者が集まり利益を上げた。
王様は彼らの売上 $1/10$ を徴収し、ピラミッド建設に継続投資し続けた。
多くの人々が集い、王様の資産は増え、エジプトという国は栄えましたとさ。

教訓: 国を豊かにするには政府の資金投入が先、税金は後からついてくる



銀行の誕生と貨幣経済制度の変遷

物々交換から金等(貨幣)と物の交換、そして貨幣の貸借りと利息の誕生。
政府中央銀行の設立と紙幣(金と交換可能な紙切れ)の発行。
金との交換制度の廃止と相対的な信用経済への移行(ニクソンショック)。

教訓: 貨幣の量とその価値は、発行国の信用経済力を表している

政府と政府の借金と金利

政府の借金は国民の借金ではなく、日本人や日本企業の預金等になっている。
政府の支出したお金は、消えてしまうのではなく、日本人や日本企業の収入となり、一部税金として政府に還流し、一部は彼らの消費及び預貯金となる。
金利は、借りたい人が多い(好景気)と上がり、少ない(不景気)と下がる。
国全体の需要が供給を上回る(好景気)と、民間の投資資金が増え金利も上がる。
逆の場合は、政府が民間の代わりに投資して需要を増やし好景気にさせる。

教訓: ピラミッドの話通り新規事業には、政府が金を出さないと始まらない

**政府の借金は政府投資額の累計、国民・企業・政府の資産として残っている
日銀は政府の子会社、日銀の政府へ貸金は政府の借金と相殺できる**



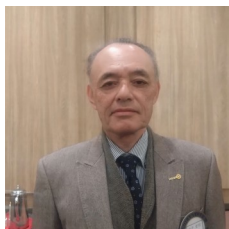
税金の役割

税金は、国民の生命と資産を守り、国家経済を安定的に維持するためのもの
経済拡大の原動力は、政府投資であり、その財源は基本的に国債発行である
税金は、景気が悪ければ減るし、景気が良くなれば増える



◆2月会員・パートナーの誕生祝◆

会員
 2月1日 新妻 和雄会員
 2月4日 大出 隆秀会員
 2月11日 芳賀 裕会員
 2月17日 石橋 真一会員
パートナー
 2月1日 斎藤 達也会員のパートナー
 2月7日 鈴木 和夫会員のパートナー
 2月17日 齋藤 康隆会員のパート



3月のプログラム紹介

央戸 宏行プログラム委員長

日 付	内 容	時 間	会 場
3月1日(土)	県北第一分区インターシティミーティング (3月5日(水)の振替)	11:30	ウェディング エルティ
3月12日(水)	【臨時年次総会】 「青少年会議報告」佐藤 和子会員「IM報告」紺野 信会員 「次年度幹事セミナー報告」菅野 幸一会員 次年度幹事からの心構えを拝聴しましょう。	12:30	<u>エフズサンパレス</u>
3月19日(水)	祝日3/20(春分の日)休会		
3月26日(水)	ホームミーティング ※登録料7,000円 会員皆様の奉仕を通じての懇親をぜひ深めましょう。	18:30	ウェディング エルティ



幹事報告
 多田 憲司幹事

- 1) 2月のロータリーレートは、1ドル154円です。
- 2) 次週2月12日(水)は、11日が祝日のため休会です。次の例会は2月19日(水)12:30～福島県教育会館にて「ガバナー補佐訪問例会」です。ぜひご出席ください。
- 3) BOX内の封筒に寄付金の領収証が入っておりますので、忘れずにお持ち帰りください。



奉仕プロジェクト委員会
佐藤 和子委員長

第19回福島中央ロータリークラブ杯 県北中学生バレーボール選手権大会のご案内

開始式: 2025年2月8日(土)
9:00～ 伊達中学校
表彰式: 2025年2月9日(日)
12:00頃～ 伊達中学校(女子)



本日の出席率	
会員数	43名
出席者総数	29名
うち出席免除会員出席	3/5名
出席率	70.7%



■佐藤 信雄会長

渡部九二五郎チャーターのお話楽しみにしてます。
鍛冶会員税金の話、よろしくお願いします。

■穴戸 宏行会員

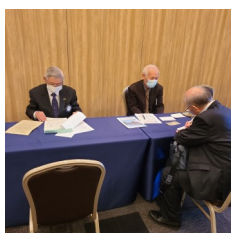
チャーターメンバー渡部九二五郎会員のスピーチと
鍛冶会員のスピーチ楽しみにしています。

安藤 正道
石橋 真一
梅津 寿光
大出 隆秀
鍛冶 輝雄
亀岡 政雄
川瀬 哲雄
菅野 幸一
熊坂 友好
今野 朗

斎藤 高紀
齋藤 康隆
坂本 和司
佐藤 和子
佐藤 信雄
佐藤 元彦
佐藤 龍史
穴戸 宏行
菅谷 敏
鈴木 和夫

鈴木 努
多田 憲司
芳賀 裕
平井 義郎
箭内 一典
山田 稔
渡部九二五郎
渡邊 英世

ニコニコBOX委員会報告 植木 博隆委員



目標	200万円
本日の投入額	29件 31,000円
累計	798,770円

